東京FAXニュース

2012 1.31

No.126

JR東労組東京地本

家族と一緒に NO NUKES !

「原発」住民投票に署名しよう！

《市民グループ》
「みんなで決めよう『原発』国民投票」

原発稼動の是非を問う条例制定を目指し、有権者の２％以上の署名を集め都議会に条例制定を請求できる３０万筆を目指し取り組んでいます！

現在１４万７０００筆（法定数３分の２）

大阪市では、法定期間の１ヶ月で法定数を超える６万１０００筆余りを集めました！

「原発」住民投票 署名集め

狙いはスーパー 残り10日懸命

1月31日 東京新聞

原発稼働の是非を問う条例制定を目指し、市民グループが東京都内で集めている署名が十四万七千筆を超えた。法定署名数の三分の二に相当するが、署名期間は残り十日。当初は著名人らが並ぶ賛同者の知名度を生かし、渋谷や新宿の駅前での街頭署名に力を入れてきたが、ここに来て、日常的に主婦らが通う地域のスーパーマーケットに重点を変更。徐々に手応えを感じつつ、最後の追い込みに懸命だ。（浜口武司、岡村淳司）

港区のスーパー前。進んで署名に応じた港区の主婦（三）は「子どもへの影響が心配だった。ママ友同士では原発問題に触れるのがタブーになっている。でも、黙っていられなくて参加しました」と話した。

元大学教授佐藤栄子さん（六七）ら四人が、寒風で目を真っ赤にしながら、店から出てきた買い物客に声を掛けていた。「一大決心で、初めて署名活動をするのは佐藤さん。川崎市の会社員鹿野隆行さん（三七）は、二週間ほど仕事を休んで署名活動を手伝う。「同僚は理解してくれています」

署名活動をするのは市民グループ「みんなで決めよう『原発』国民投票」。二カ月間で都内有権者の2%に当たる二十二万四千筆以上の署名集めを目指している。

一週間ほど前から反応は良くなっている。

スーパーの前で都民投票の署名に応じる女性＝東京都港区で

につれターミナル駅で署名活動は低調に。事務局によると、七時間かけて五十筆しか集まらない日もあったという。

そこで、グループは署名集めの重点を地域のスーパーや商店街に変更。区市町村ごとに登録された「受任者」が、ブログや会員制交流サイト（SNS）に活動の場所や時間を記載し、気軽にボランティアで参加できるようにした。

今月二十四日に新宿区内のスーパー前で署名活動をしたときには、二時間で二百二十筆が集まった。

事務局の中村映子さんは「どこのスーパーがいいとか、夕方の忙しい時間より昼間がいいとか、みんなが考えをインターネットに書き込んでいる。何とか目標を達成したいという気持ちが、みんなを動かしている」。

事務局では、臨時電話も増設し、これまでに署名簿を郵送した受任者に催促する〝電話作戦〟も開始。労働組合や宗教団体で協力を申し出てくるところも増えている。

「原発」住民投票 東京都と大阪市で原発稼働の是非を決める住民投票条例の制定を目指し、昨年12月10日から署名集めを開始。請求代表者などに俳優山本太郎、マンガ家ちばてつや、詩人辻井喬各氏らが名を連ねている。都の場合、法定期間は2カ月で21万4236筆が必要。市長選挙などがあった3市1村の署名期間は2月以降にずれ込む。有権者の2%以上の署名が集まれば都議会に条例制定を請求できるが、無効票が出ることを見込み、30万筆を目指している。大阪市では、法定期間の1カ月で法定数を超える6万1000筆余りを集めた。

都内 14万7000筆 法定数3分の2

署名期限 2月9日まで

渋谷駅（モヤイ像前またはハチ公前）

１月１６日～２月９日　毎日１２：００～１９：００

新宿駅（西口小田急ハルク前）

１月１６日～２月９日　毎日１５：００～１９：００

※以上の2ヶ所は、都民有権者であればどなたでも署名していただけます。

その他署名箇所については「http://kokumintohyo」で確認してください